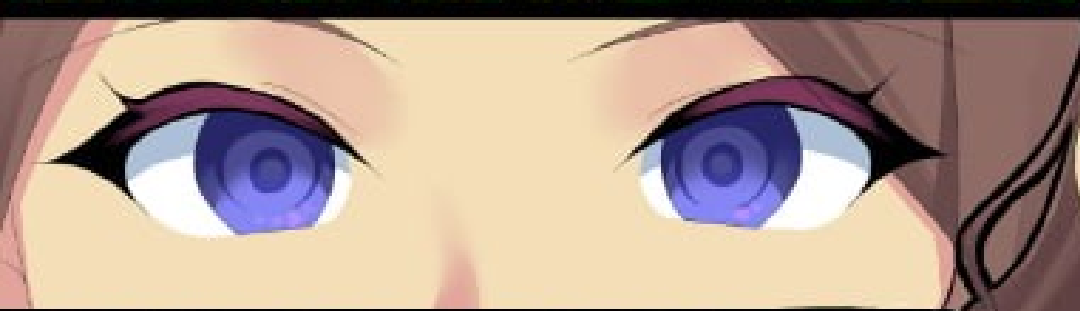


同じマンションに住む



ナマイキな人妻の常識をすり替え

世話になったな
お前達……

名残惜しいが
スペースの関係上
今日でお前達とはお別れだ



自由気ままな社会人を
目指した俺は
在宅プログラマーとして
一人暮らしを始め
誰に咎められることもなく
エロ本に塗れた生活を楽しんでた

……はずだった

これでよじっと

ちょっと——
“よし”じゃない
でしょう上地さん

何度言ったら
わかるんですっ

子供も立ち寄る
ゴミ捨て場に
こんな不潔な本を
そのまま出さないで
下さいっ

大体あなたは——



この女は**兵藤ユリ**という

同じマンションの住人の一人で
外資系だかなんだかの旦那と
中学生くらいの男の子を家族に持つ**人妻**だ

…この女は酷く俺を目の敵にしている

始まりは一年程前：

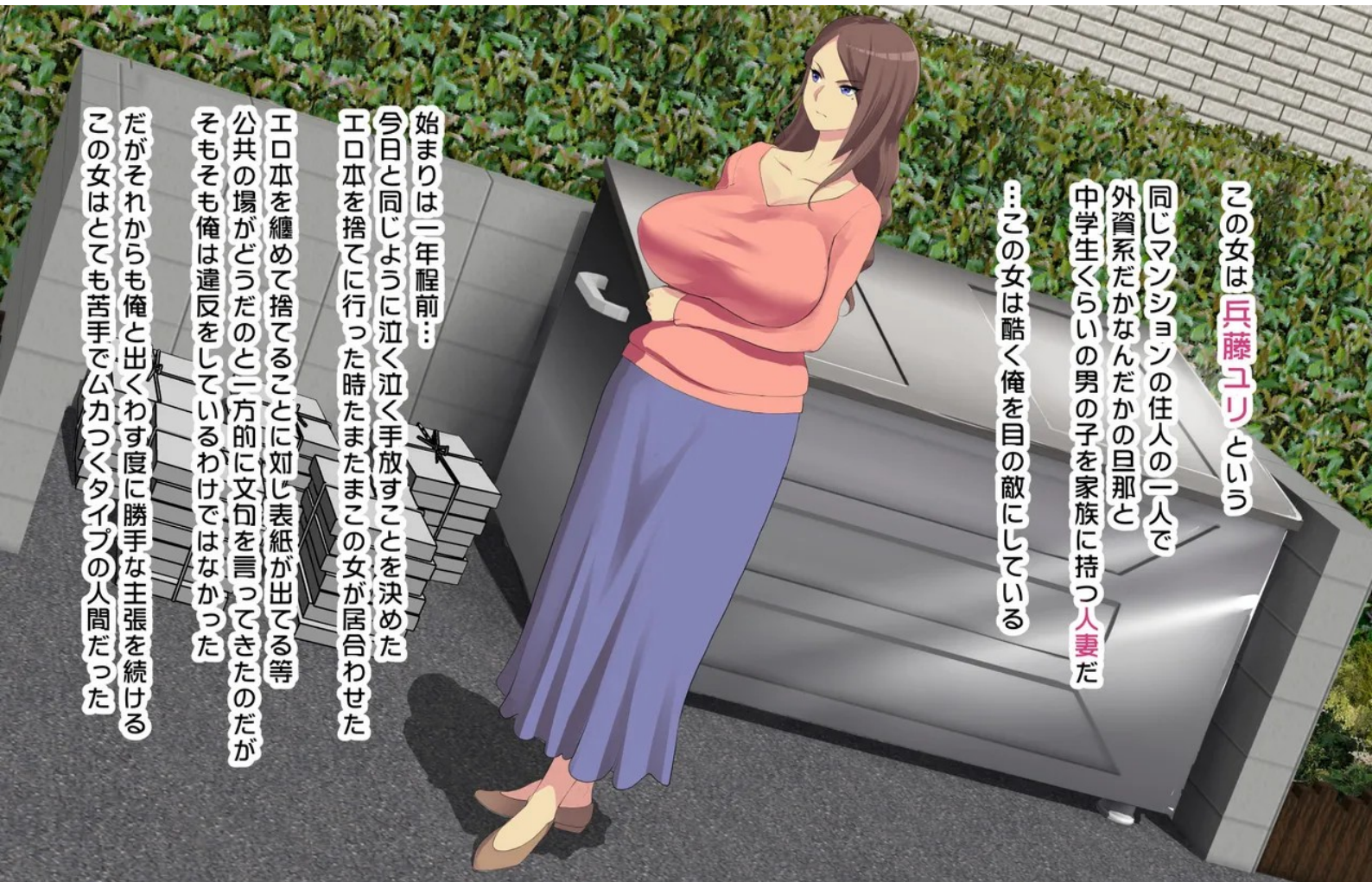
今日と同じように泣く泣く手放すことを決めた

エロ本を捨ててに行った時たまたまこの女が居合わせた

エロ本を纏めて捨てることに対し表紙が出る等

公共の場がどうだのと二方向的に文句を言ってきたのだが
そもそも俺は違反をしているわけではなかった

だがそれから俺と出くわす度に勝手な主張を続ける
この女はとても苦手でムカつくタイプの人間だった



だが：見て分かる通り
見た目だけは極上の女だった

ちよっと——
聞いているんですか?!

キツめでありながら芸能人レベルに整った顔立ち
そしてGカップ超えはあろうかという巨乳と
するりと子供が出てきたであろうデカ尻！
今は隠れているが程よくポチャッとしているのが
また素晴らしい！
△力つくがこの女は俺の性癖どストライクだった

だから持てる技術全てをかけて作ってしまった
人を無意識下で操る『催眠状態』を誘発するアプリ

起動ボタンを押すと脳を無防備状態にする高周波を発生し
画面に打ち込んだ文字を刷り込まれてしまうという代物だ

人が話しているというのに
スマホを弄るだなんて…
ほんとどういう教育を受けて
きたのかしら…

いやあすみません
ちよつと兵藤さんに
どうしても見せたい
ものがあります…

これなんですがね

起動ボタン



off

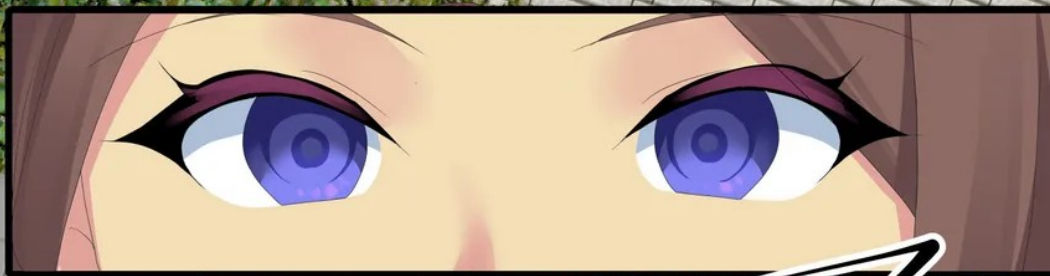




そうやって見せつけた
タイミングで俺は
起動ボタンを押す

ちょっとこれを見
て下さいよ
これですこれ

なに？
一体何を――



すると今の今まで
怒気を含んでいた
女の表情が一瞬緩む

やった!!

あ…

この表情は知っていた
実は既に知人で軽い
実験を成功させていたのだ

だから確信を持って言える
今の女は…言われた言葉を
絶対の物と認識するのだ



上地サトルが「常識」と言った時
彼の言うことは誰もがやっている
一般常識と認識すること



まったく…
最初からこうしていれば
良かったんです

すみません…
人妻は性欲を持って余した男性の
ちんぽを満足させなければ
ならないんですもんね

そうです
一体私がどれだけの間
やきもきしていたと
思っているんですか

おふっ♥

そうですね…
迷惑になるんじゃないかと
本に頼っていた
僕が間違っていました



お言葉に甘えて
処理をお願いしても
いいですか兵藤さん？

何を今更…
その気がないのなら
今こんなことをしていません

そう言いつつ今度は両手で
ちんぽをさすり始める兵藤さん…
大事なモノを扱うかのように丁寧に…

ああ…間違いない
間違いなくこの女は俺の言うことは
常識だと思っている

ですね…びびり
ありがとうございます

にゅにゅ

にゅにゅ

にゅにゅ

にゅにゅ

んっ

それにしても…
本当なんなんですか
このおちんちんは—

“常識”では
それはちんぽって
言っただすよ
ぽぞ…

わかってますっ

朝っぱらからこんなに
ちんぽを勃起させていることを
言っているんです
…汚らしいっ

すみません…
でも生理現象なもので…
僕にはどうしようも…

あっ
そこ…そこイイです♥



ああ…っ
兵藤さん…カウパーも…
カウパーも吸ってっ

ちんぽを舐めながら
シゴいてください

こ…こっね…
わかったわ…んっ

あ…っ
そう…そうです

あ~~~~~
気持ちいい♥

これはいい…
今まで俺に嘔み付いてきていた
女が今では文句を言いながらも
文字通り俺のちんぽを舐めている…
やばいすげえ興奮する…っ

それに――

うおっ
おおおおお……っ♥

いちいち
うるさい人ね……っ

というかこの男のちんぽ……
大きすぎじゃない……？

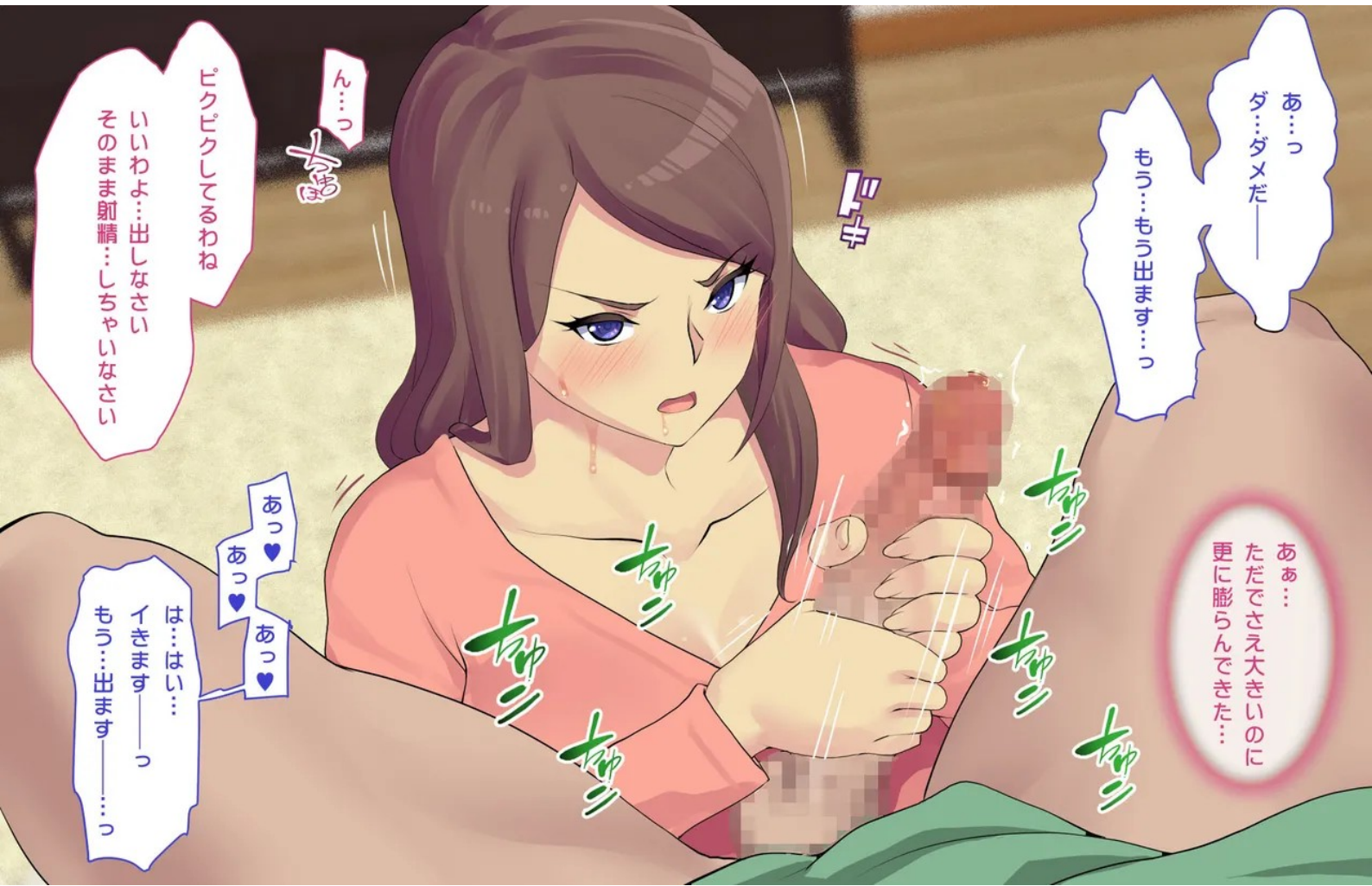
夫の二倍くらい
あるんじゃない……

イイっ
凄く……良いですよ……
兵藤さん……っ♥

さすが人妻と言うべきか
ちんぽの弱い部分を
しっかりと攻めてくる

お硬い人間かと思っていたが
十分に男を喜ばせてきたようだ





あ…っ
ダメだ

もう…もう出ます…っ

ああ…
ただでさえ大きいのに
更に膨らんできた…

ド
キ

ん…っ

ん
ん

ピクピクしてるわね

いいわよ…出しなさい
そのまま射精…しちゃいなさい

あっ♡

あっ♡

あっ♡

は…はい…

イきます…っ

もう…出ます…っ



えーっ

え…え…?
なに…?
なにこの量…

精液ってこんなに
出るの…?

うぬぬぬぬぬ

ビュル
ブル
ブル



な…なんて量
出してるのよ…

こんな量の精液…
見たことない…

す…すいません…
ちよっと興奮しちゃって

ま…まあ満足した
ってことよね
これに懲りたら—

…は？

……え？

ドキ
ドキ
ドキ

びしょ

ドキ

びしょ

びしょ

この女は一体何を言っているのだろうか

まるでこれで自分は性欲処理の役目を果たしたかのような物言い…

そんなわけはない…

そんなわけはないのだ

人妻がそんな当たり前のことを知らない筈はない…

そう—

男が一回の射精ごときで満足するわけがない…ということ…





え…あ…
なん…で…?

なんでも何もありませんよ
一回で収まるわけ
ないじゃないですか

え…
そ…そのなの…?

そりゃそりゃですわ

キラ…

キラ
キラ
キラ

知らないフリして早く
終わらそうったって
そうはいかないですよ

旦那さんだって
そつでしょうが

……え
お…夫は……

そりゃ個人差はあると
思いますが俺は少なくとも
オナニーだって連続五回は
しないと収まらないですよ

ご…五回…っ?!

だってあの人は一回射精
したらすぐに寝て……

夫はそんなに性欲が低い…
そ…それとも私の魅力が…?

キョッ



い...いいえ
そんなこと...っ

な...なんて呆れた
男なのかしらっ
盛りのついた
猿じゃないっ

ははっ
そのまま野に
放ちますか？

そんなこと許されるわけ
ないでしょうっ
いいわ...
こうなったら本気で
相手してあげますっ



そう言うと兵藤さんは
大きく口を空け
俺のちんぽをしゃぶり始めた

先端を舌先でノックするように
舐られ指先だけの適度な握りで
根本を扱かれる

おっっ♡

ははっ
いいですね
先っちょ気持ちいいです♡



ん

ん

ん

ほんとなんて大きなの…
半分も口に入っていない…

こんな美人が一心不乱に頭を動かし
ちんぽにむしゃぶりつくとは
ちょっと前まで考えもしなかった

だが――

だが正直加え方が浅すぎて
いまいち射精まで導かれない





すみせん兵藤さん
もっと奥まで啜えて
くれませんか

グッ

ズッ

おごおおおっ



うんっ

おっ...おっ...おっ
おっっ

おっ...おっ...おっ

あめ〜これっ
これですみこれっ

まるでマンコに挿れたかのような
ヌルヌルとした締めつけ...
求めていた快感が俺を昂ぶらせる

だがその気持ちよさも束の間
あまりの苦しさとで兵藤さんは
力いっぱい抵抗してきた

はっはっ

ごほっ
ごほっ
ごほっ

ちよ…ちよっと
無茶しないで

ああ…すみません
つい……

つい…じゃないわよ…
あなたのちんぽは…その…
大きすぎるんだから
全部啜えられるわけないでしょうっ

え？



驚いた…

風俗店とかでもデカイデカイとは
言われていたが

正直営業ドークだと思っていた

しかし兵藤さんがそんなお世辞を
言う必要はない…

ということは俺のちんぽは
本当にでかい部類なのか…？

その事実を認識した俺は
正直嬉しくなっていました
今おかしな事への反省もそこそこに
どんどんと調子に乗っていく
ようになった



ならそのたわわなおっぱいで
パイズリしながら舐めて
くれませんか

まよとん

パイ…ずり…?
なにそれ…??

あれ?
旦那さんに要求された
ことないんですか
勿体ない…

パイズリってのは
おっぱいでちんぽを
挟んで扱くことですよ

な——っ
そんなこと出来るわけ…っ

意外にも兵藤さんはパイズリを
したことがないらしい
先程のフェラから遊んでいたのかと
思ったがそうでもないらしい



ならばと俺は彼女に
新たな扉を開けさせる
ことにした

ええっ嘘でしょ？
Eカップ以上の人は
パイズリしなきゃいけないの
なんて“常識”ですよ？

夫婦揃って実は
常識知らずだったんですね

だ…誰にだって
知らないことの
一つや二つあるわっ

知らなかっただけで
やり方さえわかれば
出来るわよ

こ…
こ…
こ…

おほん

おほん

おほん

おほん

おほん

そう言って実際にちんぽを挟んだ
兵藤さんの胸はやはり大きく
俺のちんぽはほとんど埋まってしまった

おほっ
いい弾力♥

ムキムキ





くわあ

ん...♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡

う...ん...う

タッポッ

タッポッ

タッポッ

タッポッ

タッポッ

それにしてもこの乳圧...
でかいとは思ってたけど
ここまでじゃ...

風俗でもこんなの
味わったことないぞ



う…くっ
…ヨダレ垂らしたら
もっと滑りよくなりますよ

な…
なるほど…

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んああっ♡

ふふっ
何よその
情けない声は♡

潤滑油の投入によりさらなる
快感が背筋を伝い思わず声を漏らす

俺の反応に気を良くしたのか
はたまた余裕が出たのか
兵藤さんはこちらの反応を確かめつつ
さらに激しくデカパイを揺らし始めた



くお…おおっ♡
すげえ…いいですよっ
兵藤さん——ッ♡

高速パイズリに先フェラまで
加えられ腰が抜ける程の
刺激が襲う

勘が良いのか
やはりエリートなのか…
俺の反応を見て兵藤さんは
どんどんと学習していく

あっ
あっ
あっ
あっ

やば—
あっ

…もう…っ
ダメかも…っ





あめ——っ
ダメ——っ
兵藤さんそれダメッ
イヤ——ッ
♡

出る——
出ますよ兵藤さんっ

ん——
口の中は

ふえ……っ?!
待っ——
く……口へはひゃぶがこ……

ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク

なるなるなる



イク
ツツ

イク
ツツ



ああ……あじ……
あ……あじ……

ん……
……ひゃ……ひゃ……
あ……あ……あ……

しかも二回目なのに
全然量が変わって
ないじゃない……

口の中が……この男の精液の
白いでいっばいで……
……なんだか身体も……
……熱い……♥

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

はあ……はあ……
ははっすいません
凄く気持ち良かった
んで……つい♥

ん……ん……

ま…まだそんなに
勃起させて…

し…仕方ないわね…
おまんこも使わせて
あげるからさっさと
全部吐き出さない…♡

そう言いながら俺に
見せつけるように開いた
兵藤さんのおまんこは
濡れすぎて太ももにまで
愛液が垂れていた

うおっ
マジすかっ

なんだ…?
突然積極的になったぞ





凄まん汁
じゃないですか

もしかして
ちんぼ汁飲んで
興奮しちゃいましたか？

バ：馬鹿なこと
言わないで：っ
ただの生理現象です

あなたの猥褻チンポを
受け入れる為には
濡らしているわけでは
ありません：っ

そう否定はしていたが
肝心の兵藤さんのおまんこは
ちんぼが欲しそうにずっと
ヒクヒクとしていて
そのチグハグさが逆に俺の
興奮を誘っていた

わかりました…
それじゃお言葉に甘えて
挿れますよ：っ

ゲイッ

ドゥン

ドゥン

ドゥン

ドゥン

ドゥン



何言ってるんですか...っ
台意の元なんですから
生でSEXするのなんて
『常識』じゃないですか

そう...だった... ♡

そ...そっいえば.....

ちょ...ちょっと...あっ ♡
な...なに生で挿れて... ♡
ふうんっ ♡



うーっ
うーっ
うーっ
♡

ほっ♡
そ…それにしても…
なにコレ…っ♡
夫の時と全然違う所が…
擦れて…っ♡

あーっ
これが生まんこ…っ
すげえ…全然違うッ

の♡
これ…
まだ降りてもいない
子宮に当たってる…っ♡

タッ
タッ
タッ

タッ
タッ
タッ



はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

ダメ——♡
イッちゃう——
すくキちゃう……♡

このままこの男に
一瞬でイカされちゃう……♡

こんなに気持ちいい
なんて——♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

くっ 駄目だ……っ
すげえ吸い付きで……
気持ちよすぎ……っ

ほ♡♡♡
ほ♡♡♡
ほ♡♡♡

ま…待つへ……っ♡♡
もっとゆっくひ……♡♡♡
じゃ…じゃないと私…
まじ……♡♡♡♡♡♡

む…無理ですっ
こ…腰が止まらないっ

ズンズン

きゅんきゅん……っ♡

ぽんぽんぽんぽん

あぁ…ウン……っ♡♡
もっと…
もっと強くなって……♡♡♡

ぽんぽんぽん





くっくっくっく
のEE……ッ
出る出る出る……ッ
人妻マンコ……
生ザーメン出るっくっく

イク——♡♡
いくいく——ッ♡
わたひも……っ
わたひも
イツひやうっくっく♡♡

それは先程までの
堅物とは思えない程の
下品なメスの嬌声だった

おっ
おっ
おっ
おっ
おっ

ど
ど
ど
ど
ど

ツク
ツク
ツク
ツク
ツク

ツク
ツク
ツク
ツク
ツク

おっ♡
おっ♡

おっ♡

おっ♡おっ♡
おっ♡おっ♡
おっ♡おっ♡

それは普通の人ならば
引く程の下品な声だった
かもしれない…

ほお…おお…ん♡

だがその多幸感で
頭が真っ白に
なっているであろう
兵藤さんのメスの顔を
見ながら聞く俺にとっては

更なる血流がちんぽに流れる…
刺激的なスパイスでしかなかった





何言ってるんですか
俺だって今
イッたばかりですよ

そ...そうでしょ...っ?!
だからちょっと休憩して...

グ
イッ

グ
イッ

今イッたばかりで
わたし...っ

ちよ...ちよっと
待って...

え
っ

でも兵藤さんが
あんなにも
エロい声出すから……

俺のちんぽ……
ずっとバッキバキのままに
なっちゃってるんですよ

え……っ
わたしの……
声……で……？

あ……ああ……
本当だわ……
まだあんなにも
苦しそうにパンパンに
膨らんで……

あれが……私のせいで……
私の声で……あんなに
なっちゃってるって……いじの……？







あああつ
俺も...っ
俺も気持ちいいっ♥
すげえ気持ちいいっス

お♡
お♡

キミさ

あつ

あつ

らめ...
らめえ...っ♥

これ...
気持ち戻すぎぬ...っ♥
戻すぎぬのおおっ♥♥

お♡

お♡

ツク
ツク
ツク



イクイクイクイクッ♡♡

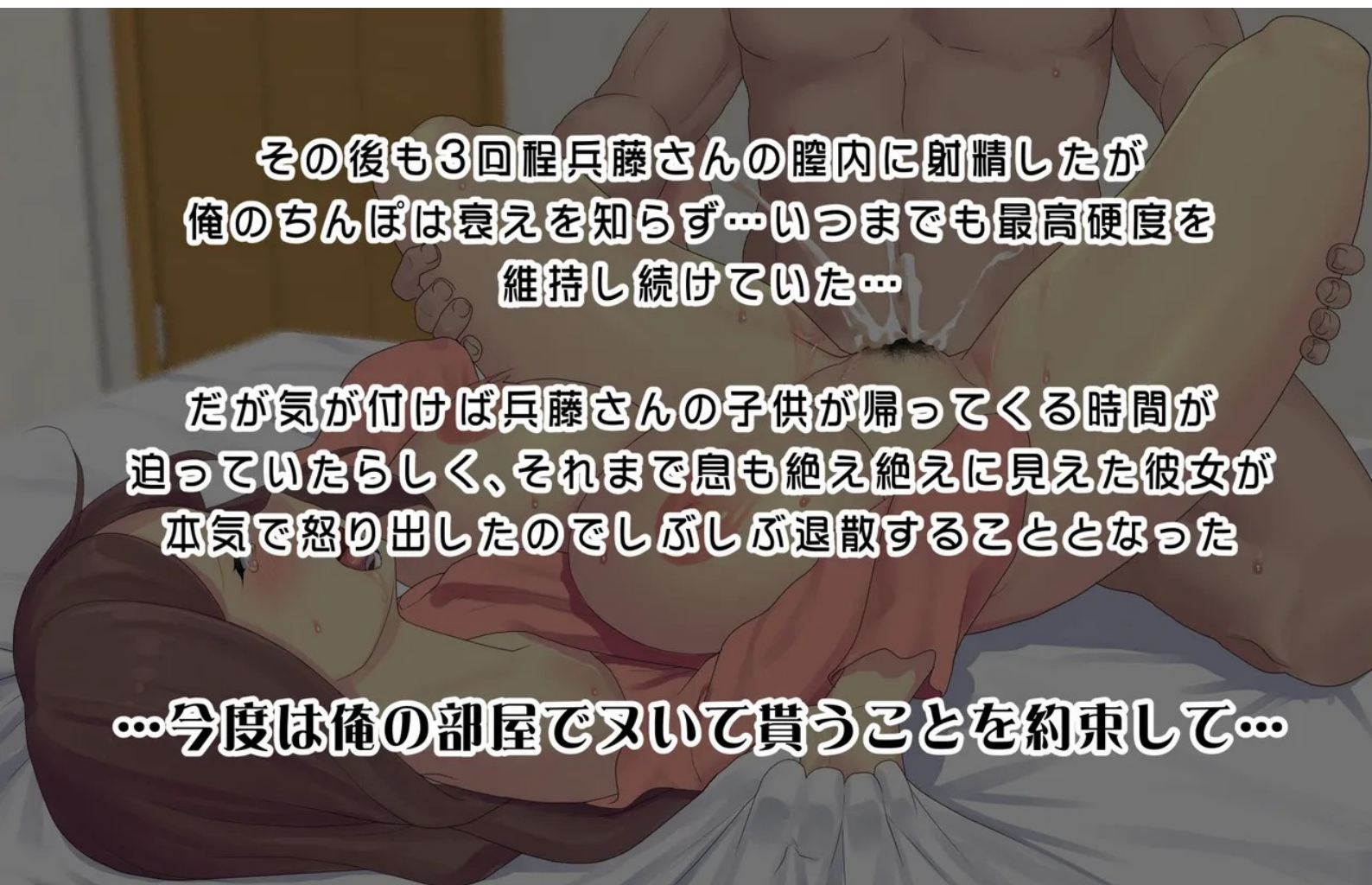
イッへる——ッ♡
またイッへるひやらあッ♡♡

おおおおっ
俺も……っ
俺もまたイク——

また兵藤さんの中に……っ
人妻マンコの子宮の中に……
大量ザーメン
流し込みますよおおっっ

あはははは
あはははは





その後も3回程兵藤さんの膣内に射精したが
俺のちんぽは衰えを知らず…いつまでも最高硬度を
維持し続けていた…

だが気が付けば兵藤さんの子供が帰ってくる時間が
迫っていたらしく、それまで息も絶え絶えに見えた彼女が
本気で怒り出したのでしぶしぶ退散することとなった

…今度は俺の部屋で又いて貰うことを約束して…



次の日

ちよ…ちよっと——
部屋に入るなり何いきなり
がつついてきてるのよっ

はあ…っはあ…っ
すみません…
昨日のこと思い出したら…
つい——

ほら…
昨日は不完全燃焼のまま
終わっちゃったし

実際限界だった…

昨日…不完全燃焼のまま帰ってきた俺は
だがしかしそのまま自慰で全てを吐き出す
ことはしなかったのだ





んあっ

き…昨日あれだけ
したのにまだ
収まらないなんて…

本当になんて性欲の塊なの…
旦那からはこんなに強く
求められたことなんて一度も

性欲なんて
寝て起きれば
いくらでも補充されますよ

むしろこんな美人と
出来るんなら尽きること
すらありませんっ

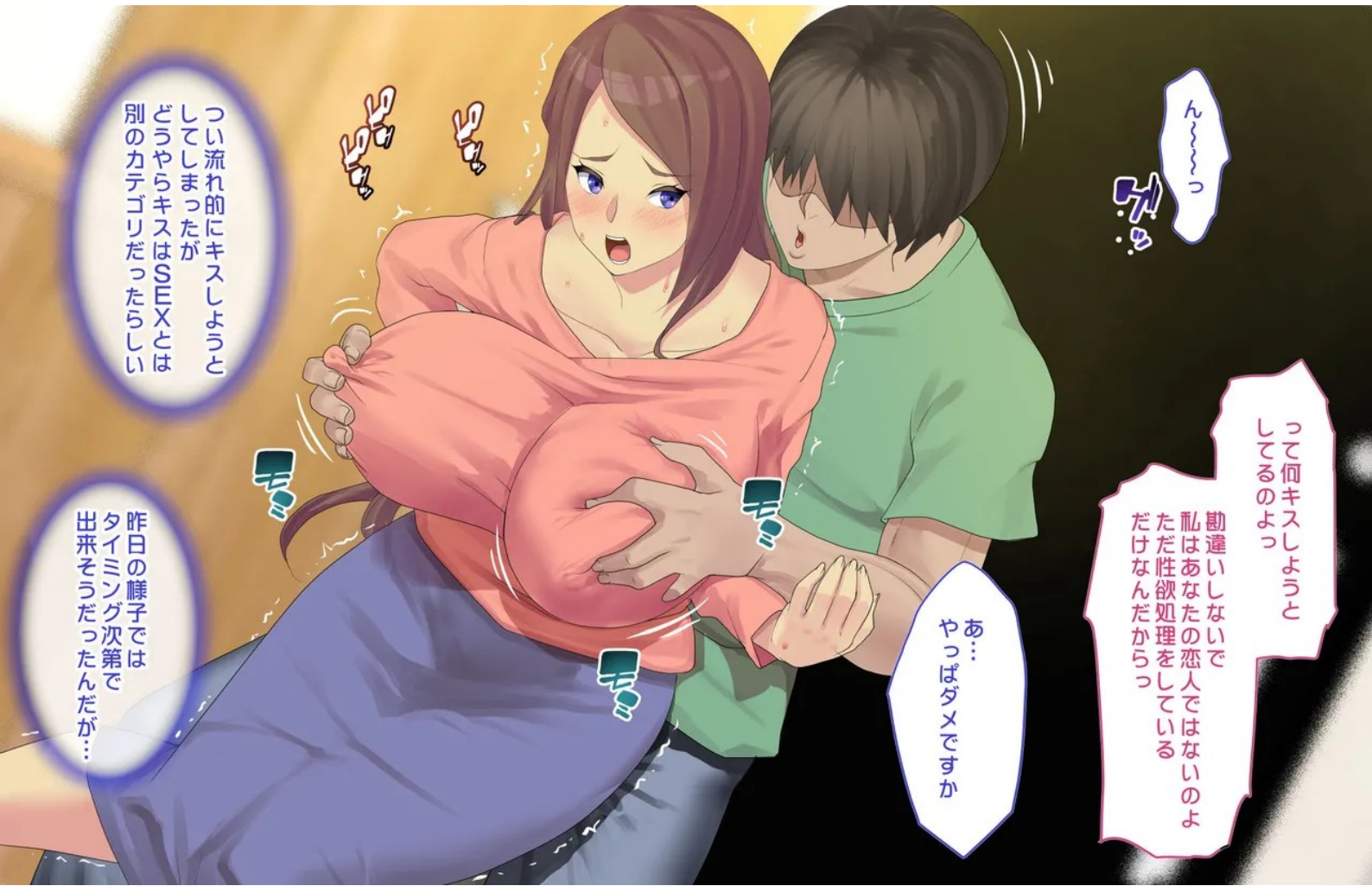
びえ
美人……っ？

って何動揺して
るのよ私——
こんな男にお世辞
言われた程度で……っ

うん

もじ

もじ



つい流れるにキスしようとしてしまったが
どうやらキスはSEXとは別のカテゴリだったらしい

昨日の様子では
タイミング次第で
出来そうだったんだが...

ん~~~~っ

って何キスしようとしてるのよっ

勘違いしないで
私はあなたの恋人ではないのよ
ただ性欲処理をしている
だけなんだからっ

あ...
やっぱりダメですか



まあ出来ないものはしょうがない
出来ることで最大限楽しむとするか

昨日も思いましたけど
兵藤さんっておっぱい
弱いですよ

ふ…
普通よ

ええ…
そうですね…?

くら…っ♡

確かに胸は弱いけど…
でもなんだかこの男にはそれを
知られちゃいけない気がする…っ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



でもほら
乳首なんてこんなに
勃起してますよ?

いきなり
ちくび摘んじゃ
ダメええっ♡
♡
♡

きやううっ♡

そんや...
あ
あ
あ
あ

あ♡

ハアッ

ハアッ

ハアッ



それに乳首いじくり回してた時
兵藤さんのおまんこきゅーきゅー
締まってたんですよ？

わかったから——
お願いだから
乳首ばかりそんなに
コリコリしないで……っ

イク……ッ
イク……ッ

はっ
はっ

はっ

はっ

はっ

まだ裸にすらなっ
てないのに乳首だけ
イカされちゃう……ッ

はっ

はっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

ぶっぶっぶっぶっぶっ♡♡♡

はははっ
ほらやっぱり
兵藤さん乳首
めちやヨワじゃないですか

やはりおっぱいは
弱かったのだから
兵藤さんは言葉にこそ
しなかつたものの
嬌声を轟かせ身を大きく
震わせながらイッてしまった

屈辱だわ…っ
まさかこの男に
こんな早く…っ
しかも胸だけで
イカされるなんて…



うあっ
あっ
あああっ
兵藤さ——
激しすぎ——っ

うるさいわねっ
さっさと射精
しちやいなさいよっ

四
四

どうやら彼女は
すぐにイカされて
しまったことを
屈辱と思ったらしい

同じ目に合わせることで
その事実を
払拭したいようだった

昨日は見せなかったSの顔
こちらの事情などおかまいなしの
精液強制搾取ムーブだった



ほらほらほらっ

もうイキそう
なんでしょっ？

さっさと出しなさいっ♡
出しちゃいなさいよ——っ♡

我慢がきかずだらしなく
射精する所を
見てあげるから
今すぐびゅーびゅー精液
射出しちやいなさいっ♡

くっ

あ……ッッ
あああ——ッ
ッ♡

巧みな手技で俺は
即イキさせられそうになる

おっ

おっ

ニッ

びゅっ

びゅっ

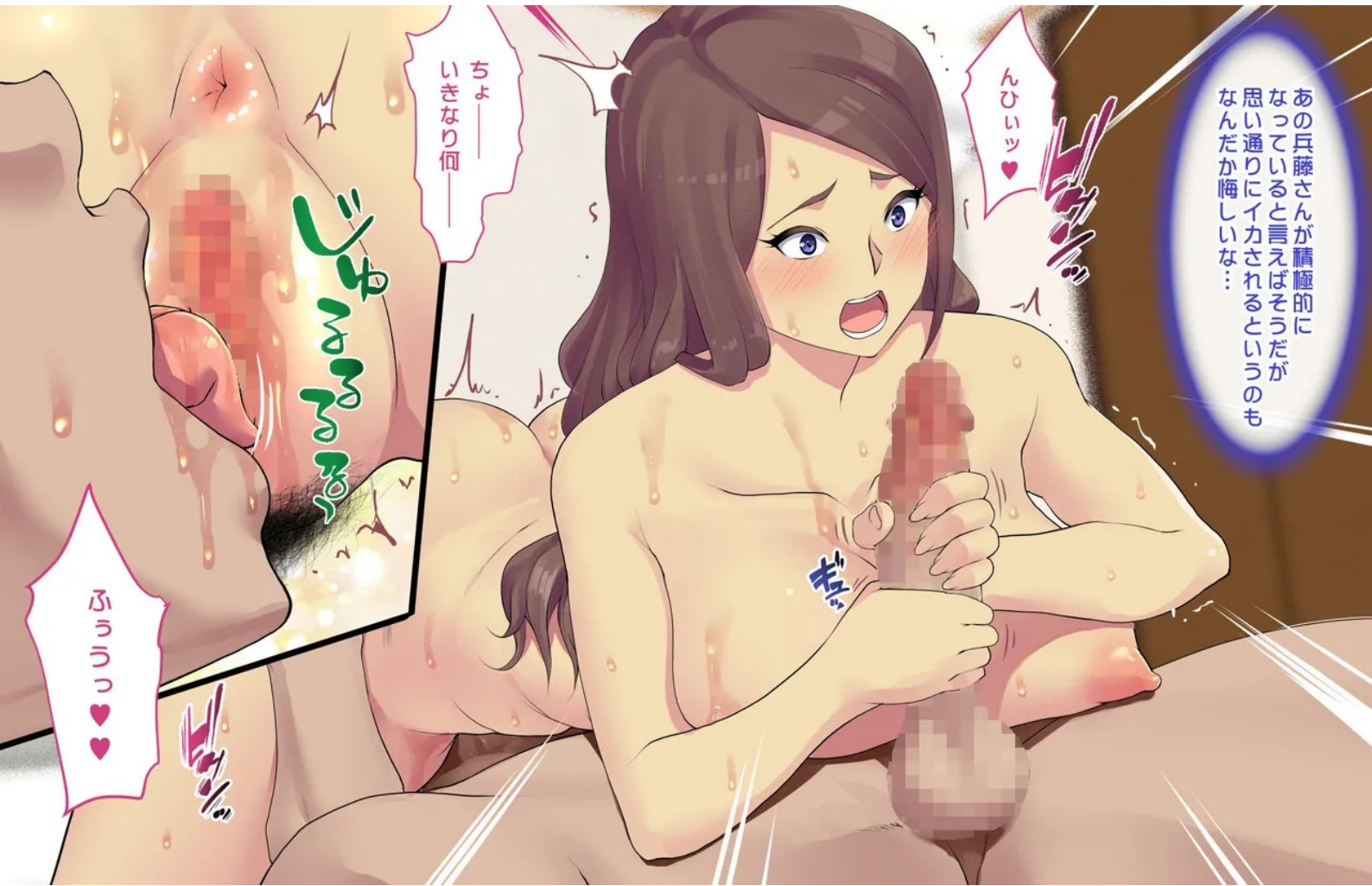
びゅっ

びゅっ

びゅっ

びゅっ





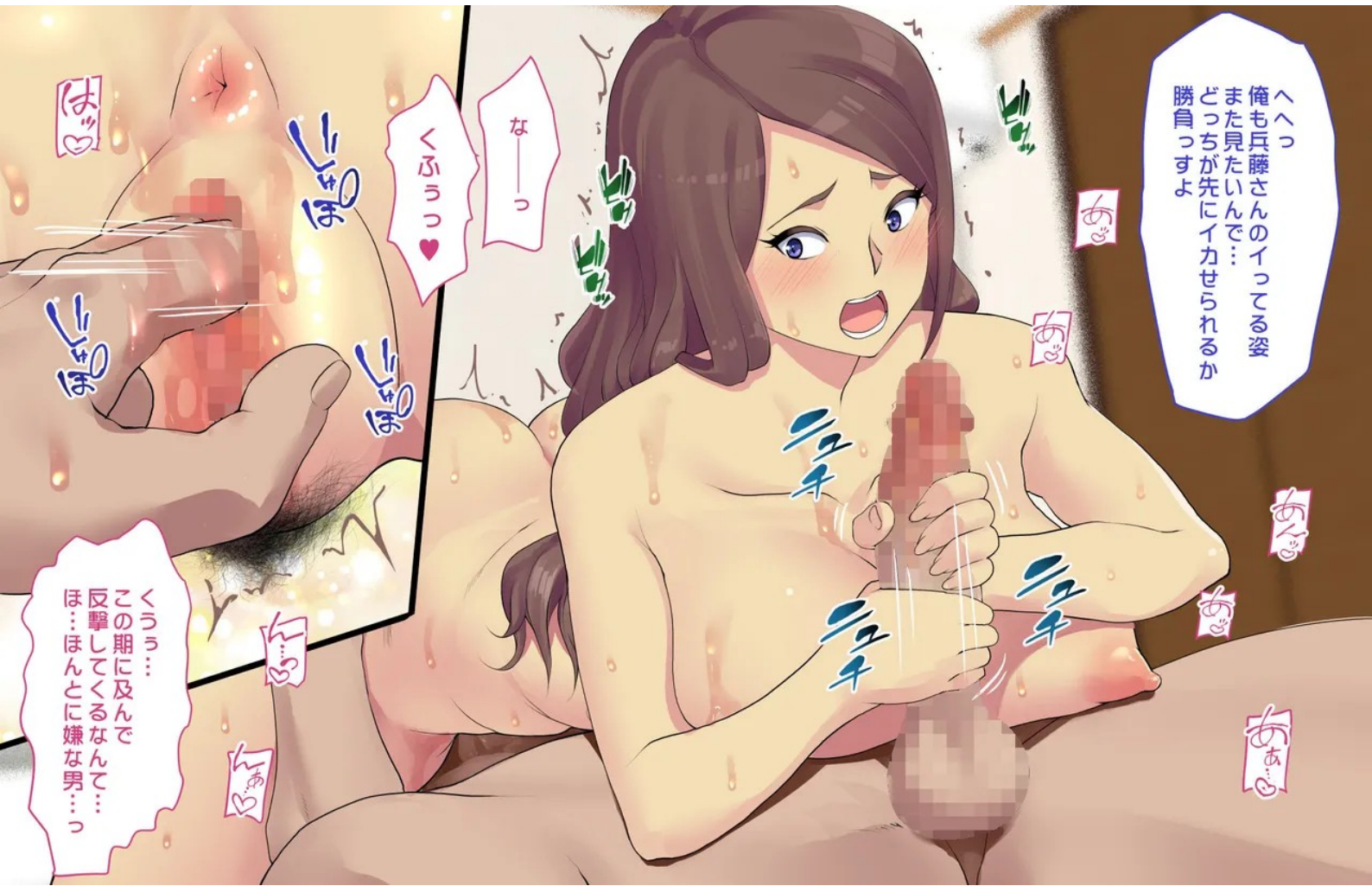
あの兵藤さんが積極的に
なっているとさえ言えそうだが
思い通りにイカされるとい
うのも
なんだか悔しいな...

んひいッ♡

ちよ
いきなり何

淫靡な

ふうっ♡♡



へへっ
俺も兵藤さんのイってる姿
また見たいんで…
どっちが先にイカせられるか
勝負っすよ

な—っ

くぶうっ ♡

くうう…
この期に及んで
反撃してくるなんて…
ほ…ほんとに嫌な男…っ

はっ ♡

くっ

くっ

くっ

はっ ♡

はっ ♡

はっ ♡

はっ ♡

はっ ♡

くっ

くっ

くっ

はっ ♡

はっ ♡



うん...うん

兵藤

うん

うん

うん

くあーあッ
そ...それは...
ヤ...バイ...ッ

うん

うん

うん

うん

兵藤さんは先程までとは
比べ物にならない程
深く啜えこみ俺は一気に
射精感を高められてしま



う…くっ

う…っ

ぶっっっ

うっ

うっっっ

ぶはっ

ひよ…兵藤さん
お…奥まで啜えてくれるのは
嬉しいですけどそんなに
頑張らなくてもいいんですよ…?

昨日は奥まで啜えて
えづいてた癖に…
な…なんて負けず嫌いなんだ…っ

あ…あら…
別に頑張って
なんか…んっ

あ…あ…
あ…あ…
あ…あ…



あなたこそ気を
使わずに…んっっ♡

空っぽになるまで
私のフェラチオで
射精し続けて
いいんですよ…？

んっっ

こんな男にそう何度も
いいようにされてたまる
もんですかっ
生意気な口を訊けないように
してあげるわ…っ

くっ
思わぬ展開に
なっちゃったが
これはこれで…
すげえ興奮する

へへっ
もうマン肉ひくひくしてますよ
もうイキそうなんじゃないですか？

んううッ♡

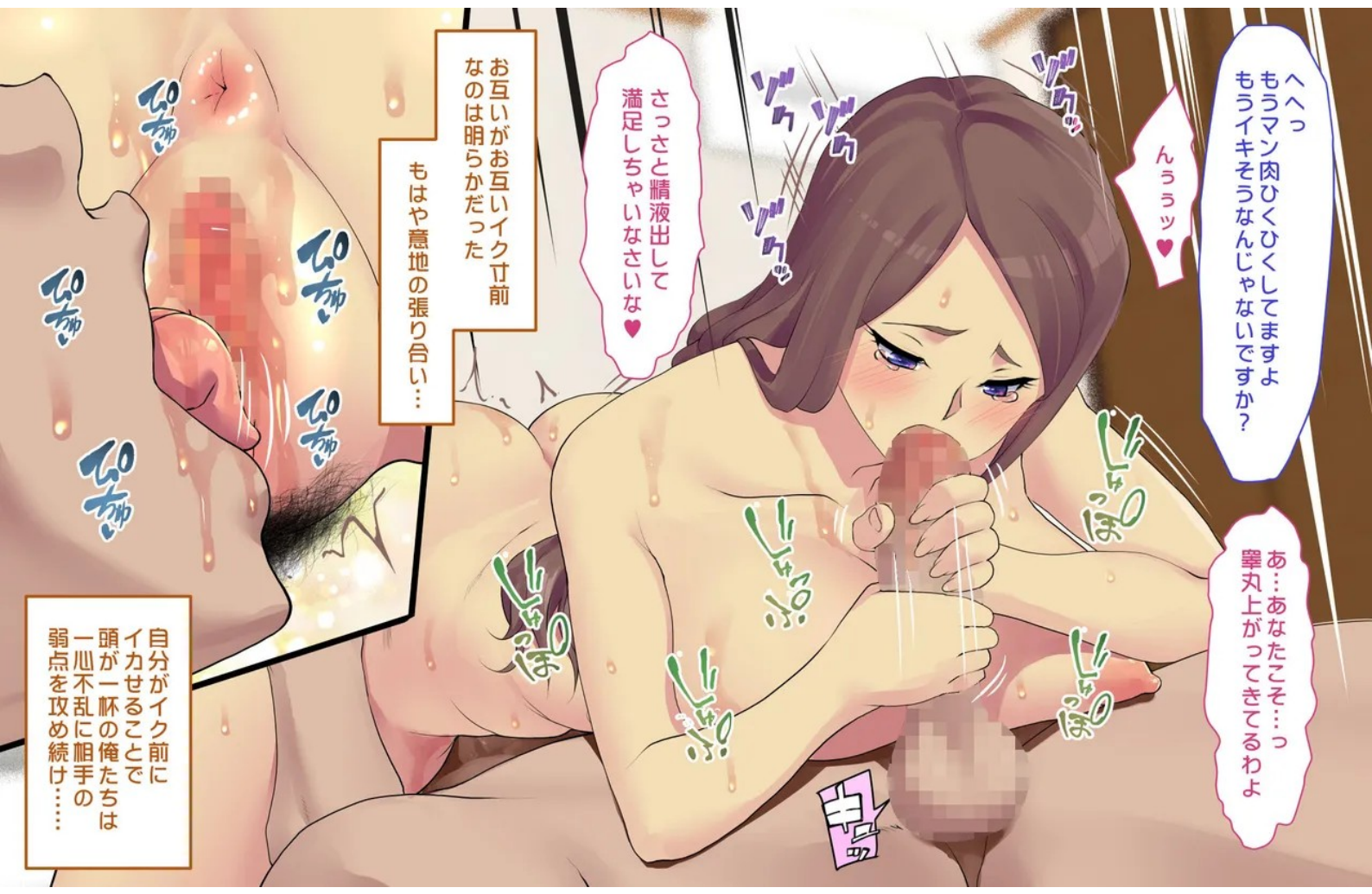
あ…あなたこそ…っ
筆丸上がってきてるわよ

さっさと精液出して
満足しちやいなさいな♡

お互いがお互いイク寸前
なのは明らかだった

もはや意地の張り合い…

自分がイク前に
イカせることで
頭が一杯の俺たちは
一心不乱に相手の
弱点を攻め続け…





んんんん

くっ
もうダメだ
出るーうらッ

アッアッ

アッアッ

グッ
グッ

グッ

グッ



はあ...はあ...はあ...
こ...こんなものね...

ふ...ふふんっ
経験が違うんだから
よめから私に任せてい
れば

あ...危なかった...
なんとか先に
イカせられたわ...

それにしても本当に
よく出るわね...
昨日あれだけ出してあげたのに
どうなってるのよ...

ぐ...ぐ...ぐ...
お...

あ...あ...あ...

あ...あ...あ...

あ...あ...あ...

あ...あ...あ...



本当に呆れたちんぼね…
まだ固いまんまじゃないの…

今日は満杯するまで
頼みますよ？

い…いいわ
おまんこで扱いて
あげるから今度は
じっとしてなさいな

：うーん
わかりましたよ
勝ったのは
兵藤さんですから
今日の所は従いましょう

ふふっ
素直ね
それでいいのよ♥

ドキ

ドキ

ドキ

ふふ

ふふ



ふう…ふう…ん♥

あ…はあ…♥
全部…挿入った…♥

うう…ほんと大きい…
でも気持ち昨日より
馴染んでる…かも

にゅ…にゅ…

にゅ…にゅ…

にゅ…

…動くわよ♥

はい…
お願いします



♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

くっ

やっぱり巨乳さんの
おまんこ...すげえいいっ

んっ♡
んっ♡

そ...
そうなの...?

ええ...
優しい刺激なのに
ギュッと締まって...

それでいて精子が欲しそうに
ニユルニユルと
吸い付いてくるんですよ

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン



ははっ
でも実際
そうなんです

だ：誰があんたの
精子なんて
欲しがらないのっか
バカじゃないのっか

まあ確かに…
本来嫌いな人間の
精子なんて欲しく
ないだろう

せ：精子が
欲しいわ
そんないっ
ないっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



だがそんな男の精子を
絞り出そうと一生懸命
マンニッコしてくれるんだから
「常識」ってのは恐ろしいねえ

そんなこと言って…
ほんとは俺の精液
欲しいんで…しょッ

んあぁッ

ちよー
ちよーッ

おっ
おっ

はっ
あ

っ
っ

っ
っ

っ
っ

っ
っ

っ
っ

誰が動いていいって
ああんっ♡



ま...まずい...
自分で動かないと
さっきまでの蓄積も
あつてすぐ...

すみません
やっぱり我慢出来ないんで
動かせて言いますよ

はぁんっ♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

タビタビ

タビタビ

タビタビ

タビタビ

ん♡

タビタビ



クウウンッ♡♡

イッた……っ♡
もう……
イッちやった……ああ……♡

くぅっ
締まっ……

イッたんですね…
兵藤さんっ

それじゃあ—
そのまま締め付けて
下さいね…っ

あ♡

あ♡

…ふえ？

あ♡

は♡

あ♡





む：無理イイイ♡
これ以上は頭おかひく
なっひやううっ♡♡♡

ひっ♡
ひっ♡
ひっ♡

ごめい♡

お♡
お♡
お♡
お♡
お♡
お♡

おほおんっ

ああ~~~~
気持ちいいっ
もうイキそっ
ですからっ
頑張ってっ

ぽっ
ぽっ
ぽっ
ぽっ

んっ

んっ



しゅゆしゅゆしゅゆ♡♡♡

また…
またイグうらッ♡

今までで一番大きいの
キチャうらうらッ♡♡♡

くっ
もう俺もイキます
から…一緒に
イキましよう—っ

頑張れっ
頑張れえっ

ふく…っ
ふううらんっ♡

おっ♡

おほんっ♡

おっ♡

おお—
おおおおっ♡♡♡♡

ズンッ
ズンッ
ズンッ
ズンッ





女のイキ漏れ
初めて見たわ...エロ♡

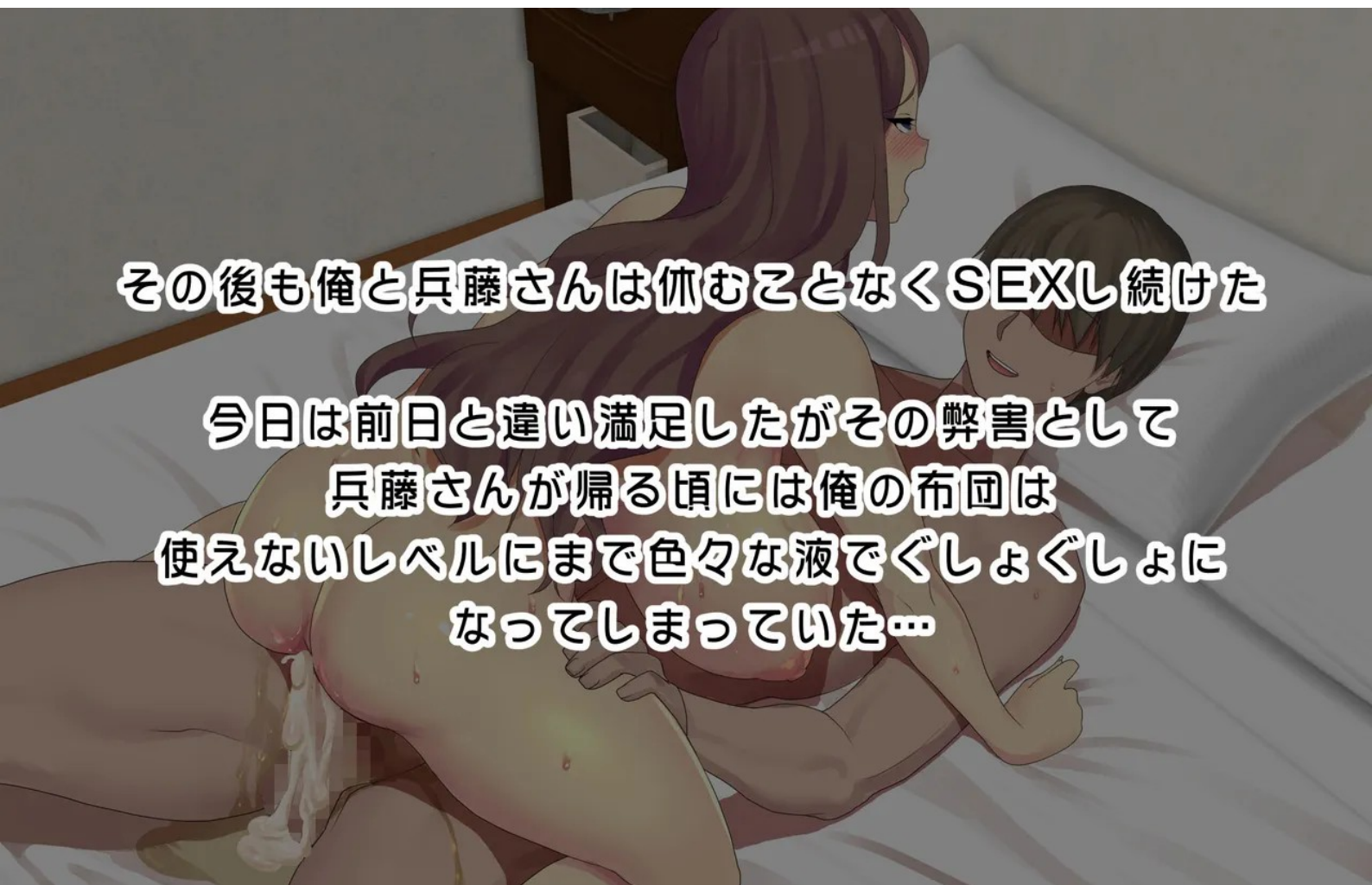
う...うう...
ごめんな...さい♡

ああ...
ああああ...♡
おしっこ...
かっぺ...いい...♡

あああ...
ははっ
兵藤さんってば
いい歳して人ん家で
お漏らしなんてしてえ
ちやんと自分で
掃除して下さいよ？

おんおんおん

おんおん



その後も俺と兵藤さんは休むことなくSEXし続けた

今日は前日と違い満足したがその弊害として
兵藤さんが帰る頃には俺の布団は
使えないレベルにまで色々な液でぐしょぐしょに
なってしまっていた…





あれから…
俺と兵藤さんは既に
数えるのが面倒な程
何日も身体を重ねていた

回数を経て兵藤さんも
俺との行為に慣れたのか
今では素直に俺に
身を任せるようになっていた

そんなこと言ってる
暇があるなら
早くイカせなさい…っ

う…うるさいわねっ
愛撫されれば
誰だってそうなるのよっ

舐めても舐めても
どんどんマン汁
出てきますよ？

ほ
ほ…っ
ほ

ほ
ほ
ほ

あ
あ
あ

あ
あ



んあっ♡

あっ♡

あっ♡

ああっ♡

ははっ
兵藤さんの反応が良いんで
ついついイジリたく
なっちゃうんですよ…
色々…ね♡

どうです
最初の頃より
上手くなった
でしょうか？

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

んく…っ♡
そんなこと
言えるわけ
—
ううんっ♡

ああ…悔しい…
今日ももうコイツの
ペースになっちゃってる…♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

ええ
言ってくださいよお
じゃないとまた
イカせちゃいますよ？

シッポ

言うーっ
イうからああ…
くひんッ

き…
気持ちいい
わよおっ

き…気持ち良すぎるから
クリトリスと膣を同時に
こねくり回さないでええっ

くひんッ

お

お

お

お

お

お

ツクツク

お





へへっ
うれしいなあ♡

よーしそれじゃあ
ゆっくりねっとり
マンコの方：
弄ってあげますね♡

ううんっ♡

んふうっ♡

あーっ
あーっ
あーっ
あーっ
あーっ

あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ

あーっ

あーっ
あーっ
あーっ



ふああ…っ
あああんっ♡

悔しい…っ
どうして私が…
あんたなんか…いいッ♡♡

んあ♡

ほ♡

あ♡

あ♡

あ♡

ああ…
いいみたいだね…

ちょっと前まで
見下していた男に
今は私が翻弄され
ちゃってるっ…っ♡

ズクッ

ズクッ

んあ♡

ズクッ

んあ♡

んあ♡

んあ♡

んあ♡

でも兵藤さんも
大分感じやすく
なりましたよね

うー
うー
うー
うんっ

確かに：
最初の頃より明らかに
感じやすくなってる：

あなたが…毎日毎日
私の身体をイジくりまわすから…
でしょう…っ♡

もう…
とっくに夫とのSEXの
回数超えちゃってる…





それどころ…

もう弱い所も知ってる癖に
そこをあえてイジらないで
じわじわと全体を適度に
責めてきて…

軽イキがずっと続いてて…
おまんこが…切ない…っ♡

んあ
あし
あいい

は♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

んんんんん
んんんんん
んんんんん

んんんんん

んんん

んんん

んんん

んんん



これ以上焦らされ
続けたら頭おかしく
なっちゃうわっ♡

もうダメ…
ダメなのお…っ♡

うんうんうん

ああ…
ああ…っ♡

お願い…
お願いだから
もう挿れて…っ♡

もっと…
もっと強く
イカせて頂戴っ♡

あれ…もう降参ですか？
本来なら兵藤さんが僕を
沢山イカせてくれなきゃ
いけないのに

もう——
あれだけ愛撫しておいて今更
何言ってるのよっ

わかってるからっ
後でちゃんと沢山
又いてあげるから

今は私を
イカせて
頂戴——っ
♡

ははっ
わかりましたよ
あ…じゃあもうっ
今日は兵藤さんのこと
下の名前で読んで
いいですか？

アッ

クキ

クキ

クキ



——っ
な…なんで
そんなこと…

いやあ
これだけしてるのに
未だに名字呼びも
アしかなあと
思ってます
兵藤さん下の名前は
なんて言うんです？

ユ…ユリよ…
よ…呼びたいなら好きに
呼べばいいじゃない

へへっ
了解——
それじゃあ行きますよ…
ユリさんっ





コ…コレえ…っ♡♡
挿れただけで背筋に
電流がびりびりってええ♡

ありや
挿れただけで
イッてるんですか

イ…った♡
イツちゃ…ったああ♡

あははっ
我慢が効かないなあ
ユリさんは

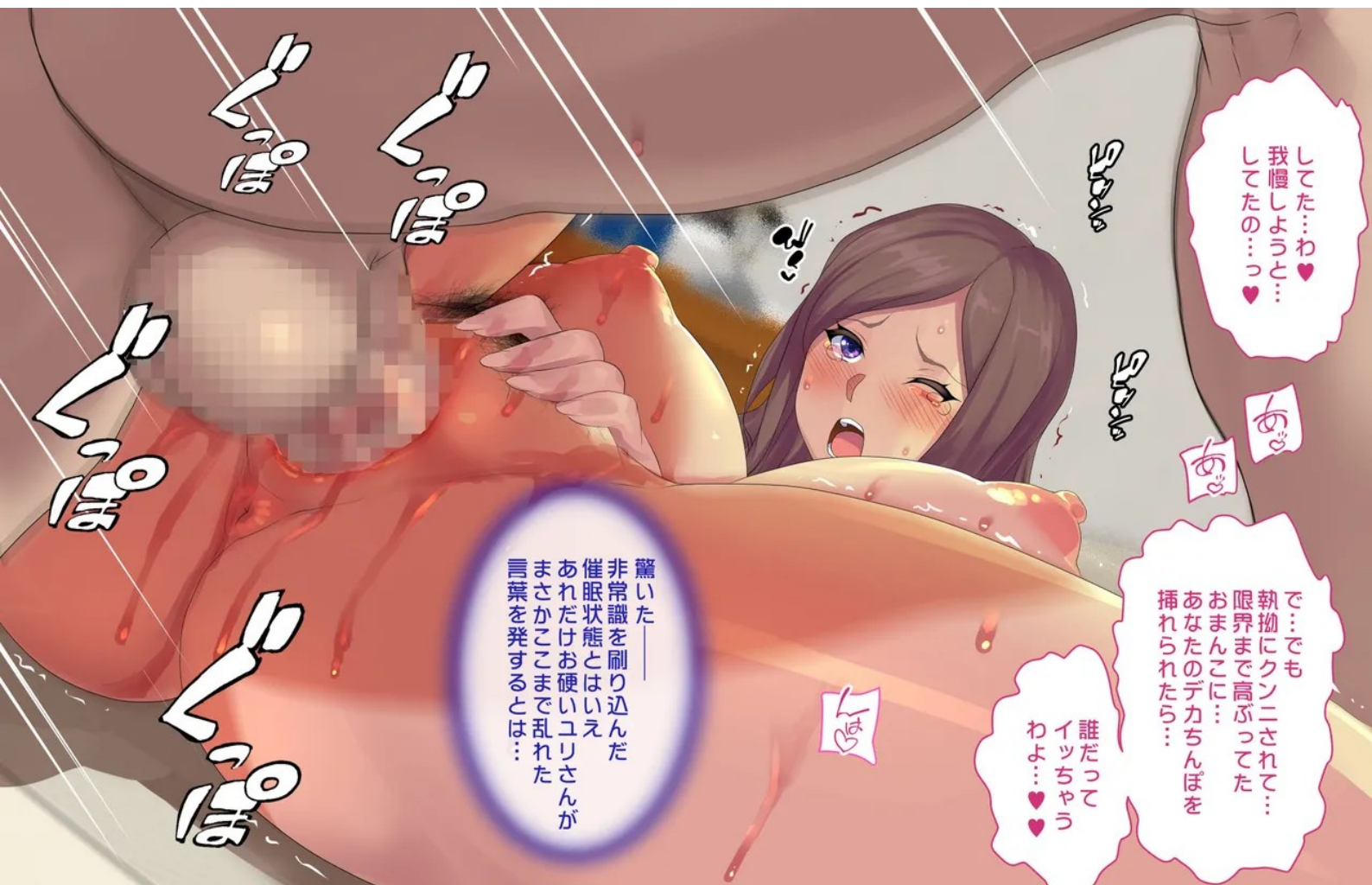
もっと我慢してから
イッた方が絶対
気持ちよくなりますよ？

が…ん…ん…

は…♡

は…♡

は…♡



してた…わ♥
我慢しようとしてたの…っ♥

あ♥
あ♥

で…でも
執拗にクンニされて…
眼界まで高ぶってた
おまんこに…
あなたのデカちゃんぽを
挿れられたら…

誰だって
イツちゃら
わよ…♥♥

驚いた—
非常識を刷り込んだ
催眠状態とはいえ
あれだけお硬いユリさんが
まさかここまで乱れた
言葉を発するとは…

ズンズン
ズンズン
ズンズン
ズンズン



へえ
そうだったんですか

正直愛撫もちんぽも
自信なかったんですが
そんなに良かったんですね

……わ……私だって
夫以外としたこと
なんて……
なかった……けど……

けど……?

い……今までのSEXで
こんなにイッたこと……
ないんだもの……♡

へ……へえ……っ

ユリさんは旦那さんのSEXより僕の方が気持ち良かったんですね

か…勘違いしないでよっ

身体が反応するのとSEXというものの良さは全然別物なんですからっ

夫とのSEXでは愛を確かめ合いながら気持ちを満たしているのよっ

ははっなるほど

妬けませんがそれは確かにその通りでしょうね

タツシ

タツシ

タツシ

アツシ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

うん

うん

ウッウッ



でも——
逆に言えば
身体は僕のSEXの
方がいいんじゃないかな

——ッ♡♡
そ…それは
…は…ああ…んくらッ♡

はッ♡♡

ズッ

ポッ

ポッ

ポッ

ポッ

喜

喜



言っ下さいよっ
言っくれなきや
ちんぼ抜いちゃいますよっ

ほらほら
どうなんですっ

やめますよ——っ
正直に言っくれなきや
ほんとにこのまま
やめちゃいますよっ

催眠状態という安心感
そしてある意味
コンプレックスでもあった
女胜への自信も重なり
俺は驚くほど強気になっていた



わ…わかった——
言う…言うからああ…っ♡

旦那のおちんちんなんかより
あなたのデカチンポの方が
百倍気持ちいいのおっ♡♡

あ…あなたとのSEX…っ
あなたとのSEXの方が
気持ちいい——っ♡♡

ポッポッ

ポッポッ

ポッポッ

ポッポッ

ポッポッ

ポッポッ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ



太くて固くて…
精液の量だって全然違う…っ

あなたのチンポが
膣内に挿入ると
五分も持たずに
イッちゃうの♡♡

SEXでここまで
気持ち良くなるなんて
知らなかった♡♡♡

だからやめないでっ♡
お願いだからあなたの
チンポでかき回してっ♡

もっともっと
イカせ続けて欲しい
のおおっ♡♡♡



ははっ
最高に興奮するね

ユリさんがこんなに
エロい人だとは
思わなかったよ

今あなたの為にごんごん精液が
作られていますよ

あはっ
嬉しい...ッ

出して...ッ
私のおまんこでじゅぼじゅぼ
コスってあなたの精液
ドビュドビュ子宮に
流し込んでええっ♡♡♡



3Pはっ
ユリさんキスも
好きなんですネ

ん…うふうん…っ
好き…っ
キスしゅきいいっ
♡
♡

キスしながらだと
凄く幸せな気持ちに
なるのおお♡
♡

この間までキスは
拒んでたのに…
どうして今までは
拒んでたんです？

だって…
だってええ…

四
四
四
四
四

ウ
ウ
ウ
ウ
ウ

ウ
ウ
ウ
ウ
ウ

ウ
ウ
ウ
ウ
ウ

ウ
ウ
ウ
ウ
ウ



あなたとキスしちゃったら
あなたのおちんぼのことしか
考えられなくなりそうで…

夫が頭の中からいなく
なっちゃうかと
思ったんですものお…♥

ははっ
なるほど

じゃあ実際今
ユリさんの中に
旦那さんはいるの？

ああんっ♥
意地悪
言わないでえ♥

今だけ…っ♥
今だけ
だからあっ♥

あなたの精液を
注いで膣ってる間
だけだからあっ♥♥



へへっ
じゃあ旦那さんの
為にも早く今日の分
出し尽くさないかね

ああんっ
きて——ッ♡♡

精液私の子宮に
叩きつけて
ええっ♡♡

ムゴッムゴッ

ッ、ッ、ッ

ッ、ッ、ッ

ッ、ッ、ッ

ッ、ッ、ッ

ッ、ッ、ッ

くっ
早速一発…っ
膣内に出すよっ

ッ、ッ、ッ
ッ、ッ、ッ
ッ、ッ、ッ



あはっ♥
すこおい…♥

出したのにそのまま…♥
コレ…ッ
コレで意識飛ばされ
ちやうのおおッ♥♥

ははっ
そりゃこんだけエロい人
目の前にして萎えさせる
なんて勿体無いですよ

ああんっ♥
エロいだなんてそんな
恥ずかしい目で
見ないでええっ♥♥



今更何言ってるんですか
最近のユリさんは常に
フェロモン漂わせてますよ？

このマンションにいる
男の人全員気付いて
るんじゃないですかね
何か心当たり
ないんですか？

そ…そういえば……
この間……
夫が久しぶりに
SEXに誘って…あっ♡

ははっ
間違はなくそれが
原因ですよ

右へん

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

ムカッ

おっ

おっ

おっ



久しぶりの
SEXはどうだった
んですか？

き：気持ち
良かったー♥

なんだか今までより
強く求められて…♥

まだ愛されてるんだ
って思えて凄く
幸せだったの…♥

うーん…
それはいい話
ですね

でも…
でも…

…？
でも？

でもね…
…イケなかったの…

あの人すぐに
イッチャって…
しかもそのまま
寝ちゃった…

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡



ありやりや
そんなにお疲れ
なんですかねえ

ユリさんイカせるの
なんて簡単だと思っ
ただけどなあ

ほろっ

おっ

おっ

おっ

あひんっ♡

ココ擦り続ける
だけで簡単に
イッちゃうよね

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

らめりめりめっ
そこすく
イッちゃ

んんんんんっ♡♡



なんでえ……♥
なんであなたには
こんなすぐにイカ
されひやうのおお♥

ははっ
ユリさんの弱いところて
わかり易いですし
俺は女がイクとこ見るの
好きだからいつの間にか
イカせ上手になったの
かもですね！

1P.10/20

1P.10/20

1P.10/20

はっ

はっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

1P.10/20

1P.10/20

イッてるマンコの中って
ほんとに精液搾り取ろうと
絡みついてきて凄い
気持ちいいんですよ

そ…
そうなんだ…♡

ふふ…♡
なんだかはしたなくて
恥ずかしいわ♡

ムキムキ

ムキムキ
ムキムキ
ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

ははっ
俺の子供欲しがってる
みたいで嬉しいん
ですよ〜

!?

ゴキ

ぐわ

ぐわ

タッポ

タッポ

タッポ

タッポ

ば...ばかあ...ツ♥

そんなこと...ツ
あるわけ
ないれしょお...

おほお

ふふっ
わかってますよ
性欲処理ですからね

僕が勝手に思ってる
だけですから



そ...そうよお...
んふうッッ ♥
あくまで性欲処理...
なんだからあ...ッ ♥

ふふっ
でもそうねえ... ♥
私達のSEXじゃあ
絶対子供は出来ないけど...

それで気分が盛り上がる
なら孕ませるつもりで
思いつき子宮に精液
流し込んでちょうだい...ッ ♥

ゴッゴッ
ゴッゴッ
ゴッゴッ

ゴッ

ゴッ
ゴッ

ん...♥

ん...♥

ゴッ

ゴッ





あああ…ツツ♥
らめらめらめツ♥
そんなに激しく
ズボズボされたらああ…

アアツ♥
しゅ…しゅごいッ♥
ほんとにしゅごいーッ♥♥

イクーッ
またイッて…私のおまんこが
あなたの精子受け入れようと
しちゃううううッ♥♥♥

本気で射精しに
キテう…ッ♥

着床させる気で
おちんぼズボズボ
されちゃって
りゅううッ♥♥♥



こんな状態で
射精されちゃったら
射精され続けちゃった
らあああ——♡♡

本当に妊娠
しちゃうかも——♡
あなたの子供孕んじやう
かもおお♡♡

へへっ
イキますよっ

子供出来たら
ちゃんと産んで
下さいねっ

ええっ♡
そんな……ッ
でも……
でもおお♡♡

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ



大丈夫ですよ
旦那さんとも
したんでしょ？

なら100%旦那さんの
子供なんですから
安心して産んで下さいねっ

おおおおお

おおおおお

おおおおお

おおおおお

おお



え...ええ...私も...気持ち良かった...わ...♡

でも...

?

あ~~~~出た出たっ最高でしたよユリさん♡

は

は

は

?

でもまだまだ
出し足りない
んでしょう…？
♥

はあ…

はあ…

ロキ

ロキ

ロキ

ロキ

ロキ

それじゃあ
二回戦…
といきましようか

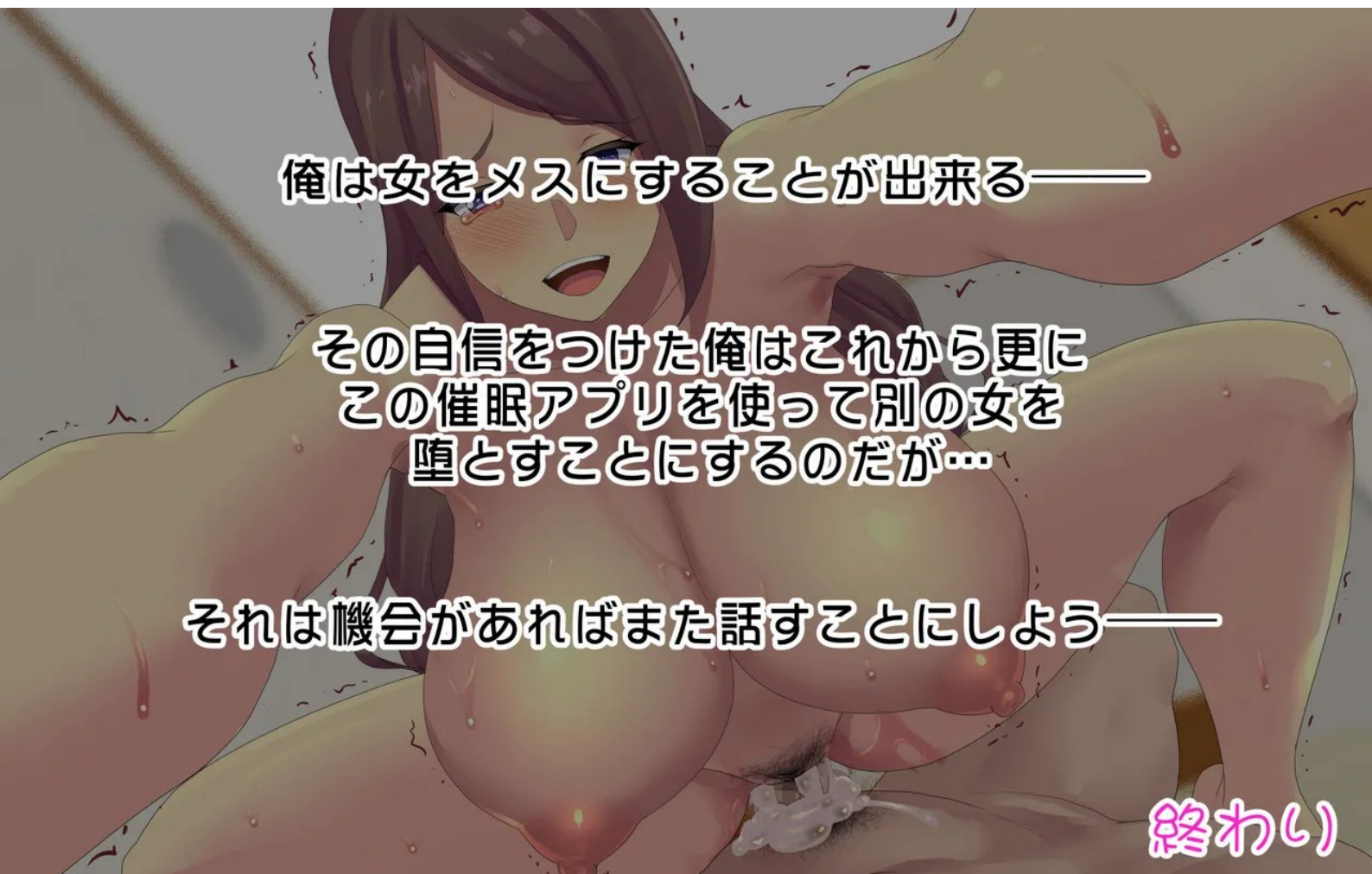
はあ…

!!

ははっ
本当に俺のことが
わかってきたね

ええ…
今日こそはあなたの
精液からっぽになるまで
又きってあげるわ♥♥





俺は女をメスにすることが出来る——

その自信をつけた俺はこれから更に
この催眠アプリを使って別の女を
墮とすことにするのだが…

それは機会があればまた話すことにしよう——

終わり



